

## 総合評価結果報告書

施設の名称	静岡市静岡老人ホーム及び静岡市救護所		
課名	高齢者福祉課、福祉総務課		
指定管理者名	(福) 静岡市厚生事業協会		
指定期間	平成30年4月1日～令和3年3月31日		
評価委員会 開催年月日	令和2年7月28日(火)		
評価委員	①委員長 大畑 綾子(高齢者福祉課長) ②委員 村松 正博(参与兼福祉総務課長) ③" 繁田 昌宏(介護保険課長) ④" 石原 幸子(介護相談員) ⑤" 亀澤 義高(葵区民生委員児童委員協議会会長)		
評価点 (各委員平均点)	83.8点	評価	A・ <span style="border: 1px solid black;">B</span> ・C・D・E
評価結果詳細	別紙「総合評価結果総括表」のとおり		
総合評価結果を踏まえての施設所管課としての意見	<p>静岡老人ホームと各区高齢介護課と隔月で情報交換会を実施し、連携を図ることで措置の必要な高齢者を入所につなげている点は評価できる。また、静岡市救護所も各区生活支援課と連携を密にし入所につなげるよう努めている。</p> <p>静岡老人ホームと静岡市救護所ともに、入所人員数を指定管理者が管理することができないという制約があるなかで、サービスを低下させることなく、運営できている点は高く評価できる。</p> <p>静岡老人ホームと静岡市救護所ともに、地域にある他施設と連携が図られ、他施設とともに地域の行事への参加、施設の地域への開放等、地域交流も活発に行われている。</p> <p>静岡老人ホームと静岡市救護所ともに、入所生活に関するアンケートや聞き取り調査の結果を分析し、改善を重ねる取り組みがみられ、入所者のニーズを把握、サービスの質向上の姿勢が感じられる。</p>		

## 総合評価結果総括表

施設 の 名 称 [静岡県静岡老人ホーム及び静岡市救護所]

課 名 [高齢者福祉課及び福祉総務課]

指定管理者名 [(福) 静岡市厚生事業協会]

	A 評価 委員	B 評価 委員	C 評価 委員	D 評価 委員	E 評価 委員	平均 点
<b>1 履行状況の確認</b>	<b>【配点50点】</b>					
(ア) 事業の円滑な実施 (15点)	15	12	12	9	15	12.6
(イ) 適正な人員配置 (10点)	10	10	8	8	9	9.0
(ウ) 安心・安全を最優先した施設の維持管理 (15点)	15	12	13	12	13	13.0
(エ) 庶務事務 (10点)	10	8	7	8	10	8.6
小 計	50	42	40	37	47	43.2
<b>2 指定管理者の創意工夫</b>	<b>【配点15点】</b>					
(ア) 指定管理者による事業の提案と実施 (15点)	15	12	11	9	12	11.8
小 計	15	12	11	9	12	11.8
<b>3 市民（利用者）のサービスの向上</b>	<b>【配点15点】</b>					
(ア) 利用者の満足度調査が実施されている。 (5点)	4	5	4	4	5	4.4
(イ) 利用者満足の向上に努めている。(5点)	4	4	4	3	5	4.0
(ウ) 利用者等からの要望、苦情への対応がされて いる。(5点)	4	4	3	3	5	3.8
小 計	12	13	11	10	15	12.2
<b>4 施設固有の評価項目</b>	<b>【配点20点】</b>					
(ア) 措置施設として、福祉事務所との連携が確立 している。(10点)	8	10	7	8	10	8.6
(イ) 居住施設として、入所者との関係を適切に保 っている。(10点)	8	8	8	7	9	8.0
小 計	16	18	15	15	19	16.6
合 計	93	85	77	71	93	83.8

※ 平均点は小数点以下第2位を四捨五入する。

各評価委員の所見のまとめ（※各評価委員の所見をそのまま記載してください。）

【A評価委員】

地域にある他施設と連携し、地域の行事に参加したり、施設を地域に開放することで、入所者が生活しやすい居場所づくりに努めている。

食に関する嗜好調査を年2回実施し、入所者のニーズにあった食事の提供につなげ、施設における楽しみを増やそうと努力している。

【B評価委員】

地域との連携を積極的に図っている。

利用者の意思を吸い上げ、サービス向上につなげている。

所管課と連携しながら適切な施設運営に努めている。

【C評価委員】

地域や市と連携し、福祉避難所の立ち上げ訓練を実施するなど、地域との連携、防災対策に努力している。

【D評価委員】

開かれている様子が見える。

自立に向けてのレク、支援が感じられない。

【E評価委員】

利用者個々に担当の生活相談員、支援員を配置しておられることは、きめ細かい配慮ができると思います。

いろいろな行事を取り入れ、利用者の生活に潤いを持たせ、生きがいのある生活を送れるよう配慮されていると思います。

入所を希望される方については基本的には「断らない」ことを大前提としていることは市民にとってありがたいことと思います。

評価委員会としての意見

静岡老人ホームと各区高齢介護課と隔月で情報交換会を実施し、連携を図ることで措置の必要な高齢者を入所につなげている点は評価できる。また、静岡市救護所も各区生活支援課と連携を密にし入所につなげるよう努めている。

静岡老人ホームと静岡市救護所ともに、入所人員数を指定管理者が管理することができないという制約があるなかで、サービスを低下させることなく、運営できている点は高く評価できる。

静岡老人ホームと静岡市救護所ともに、地域にある他施設と連携が図られ、他施設とともに地域の行事への参加、施設の地域への開放等、地域交流も活発に行われている。

静岡老人ホームと静岡市救護所ともに、入所生活に関するアンケートや聞き取り調査の結果を分析し、改善を重ねる取り組みがみられ、入所者のニーズを把握、サービスの質向上の姿勢が感じられる。